

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「ひまわりのように」

射水市立新湊中学校

平成26年7月2日実施

【いのちの先生】

土井 和子先生

・元小学校教諭

<生徒の感想>

土井先生は、突然の事故で体が不自由になるという経験をされました。ドラマや本の中で、見たり聞いたりしたことがありますが、もしも自分がそのようになったら、本当に怖いです。ぼくも少しのことに負けないで、がんばりたいと思いました。



<生徒の感想>

一番心に残ったことは、「不幸だと思っていたら、不幸しか見えない。周りには小さな喜びや幸せがあふれています」という言葉です。自分の周りの小さな喜びや幸せとは何だろうと考えさせられました。土井先生を支えたお母さんや旦那さんは、すごいなと思いました。私とその立場になり、土井先生にそこまでしてあげれるかと感じました。人間の強さについて考えさせられました。

<生徒の感想>

土井先生のお話を聞いて、交通事故の恐ろしさを感じました。毎日学校へ来て、友達と笑って、勉強をして、時には嫌になることもあります。ふつうの生活を送れることは、ふつうのことではないと思いました。土井先生は、教員として生きがいをもって、働いておられたそうです。すごく大変だったのではないかと思います。でもあきらめず、学校に行けない子供たちの話を聞く仕事をまたされたところがすごいです。私もあきらめずに強く生きていきたいと思いました。

